

所 報

題字: 武田満之校長(平成9年、野幌中学校)

第158号 令和3年3月5日

江別市教育研究所所報

江別市高砂町24-6 TEL 381-1058

(主な内容)

- ・ 第2回小学校外国語教育指導連絡協議会報告
- ・ 「朝運動プログラム」普及出前授業実施報告
- ・ 令和2年度江別市教育研究所事業報告

第2回小学校外国語教育指導連絡協議会開催される

1月25日(月)に、今年度2回目の小学校外国語教育指導連絡協議会を開催し、今年度の事業の反省、各小学校における外国語教育の推進状況や課題の交流、次年度の事業計画について協議しました。

事前調査では、評価の方法と基準の明確化、授業のパターン化、指導内容の定着、A L Tとの連携と役割分担など様々なご意見があり、それを基に交流しました。元江別市小学校外国語活動巡回指導教員である江別第二小の黒田先生からは、次のような助言をいただきました。

- 小学校で英語嫌いにさせないために、評価のハードルをあまり高く設定しないこと
- 「これをAにしましょう。これはB、これはC…」といった評価の共通理解には、授業を観合うことが一番の近道であること
- 校内で、ゲームやワークシートなどの資料を共有する取組をすると、翌年からの負担減となること
- 校内で、共通の授業の流し方、授業パターンをある程度決めることは、個々の担任の不安解消や子どもたちが安心して授業に臨むことにつながる
- 教科となった高学年は遊びを入れる時間がなくなるので、低・中学年の内に十分楽しみ、なじんでおくことも必要であること
- ミスを責めない、自信を持たせることは、そこにこそ担任の役割や言葉がけの真価があること

また、江教研教育課程委員である中央中の鴨川先生からは、外国語教育における「小中連携、小小連携」の強化を求める意見が出されました。

「朝運動プログラム」普及出前授業5校実施

新型コロナ感染対策のため大学生の応援は避け、マスク着用などの感染対策を取りながら東野幌小・大麻泉小・野幌小・対雁小・豊幌小の5校で「朝運動プログラム」普及出前授業を実施しました。少ない準備と少ない指導者でできる運動メニューを揃え、どの小学校の子どもたちもスピード感とリズム感のある指導に引き込まれ、豊富な運動量をこなしていました。

この授業で扱った北翔大学制作のリズム体操「North Jump」のDVDは先日、各小学校に配付しました。



令和２年度 江別市教育研究所事業報告

江別市教育研究所は、教育の理論や実践について専門的研究を行うとともに、一層の教育の進展と充実を図るために、調査や資料の収集整理、教職員研修、関係機関との連携などに取り組んできました。本年度の主な取組を終えましたので、令和２年度の江別市教育研究所事業報告をいたします。

１．所員会議について

（１）構成

所長	萬	直樹（教育部長）
副所長	佐藤	学（学校教育支援室長）
副所長	生田	康人（北光小学校長）
所員	真野	智美（上江別小教頭）
	鵜川	正規（大麻西小教諭）
	出村	吏世（上江別小教諭）
	内山	敬一（江別第三中教諭）
	渡辺	愛（野幌中教諭）
事務局長	島田	茂（教育研究所）
事務局次長	鈴木	拓（学校教育係）

（２）会議

- 第１回（書面会議）：年間事業計画、所員の業務、夏期セミナーの内容
- 第２回：意識調査の項目検討
- 第３回：夏期セミナーの反省、意識調査の集計の分担
- 第４回：意識調査の分析・考察の分担
- 第５回（書面会議）：意識調査の分析・考察の検討
- 第６回：今年度の事業の反省、「調査研究報告書No.36」の製本作業

２．教職員夏期セミナーについて

新型コロナウイルス感染防止対策のため、「今日的教育課題」の一講座のみを、管理職やミドルリーダーを対象として課業日に実施し、３８名が参加しました。「危機管理」をテーマにして講義や演習を行い、内容面の評価としては「大変良い」「良い」を合わせた割合は約９７％でした。

３．調査研究報告書No.36について

「意識調査」に基づく調査研究報告は、昭和６０年から毎年行っています。今年度の研究テーマを「新型コロナウイルス感染症流行

に関する児童・生徒、保護者、教職員の意識調査」とし、抽出された８校の児童・生徒、及びその保護者、その学校の教職員のご協力をいただき、調査結果を集計し分析・考察を加えました。

完成しました調査研究報告書No.36は先日、各小・中学校をはじめ道内や市内の各教育関係機関等に配付・送付しました。

４．小学校外国語教育指導連絡協議会の運営

- 第１回：年間事業計画、現状交流、研修
- 第２回：事業の反省、現状と課題の交流
- 研修：小・中学校の英語・外国語活動等の授業参観は、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止としました。

５．体力向上事業の推進

（１）「朝運動プログラム」普及出前授業

北翔大学の協力を得て、豊幌小・対雁小・野幌小・東野幌小・大麻泉小の５校で実施し、子どもたちは豊富な運動量のメニューを体験しました。

（２）「走り方教室」モデル授業

各小学校に公募して５月に行っていた「走り方教室」は、新型コロナウイルス感染防止対策のため今年度は中止としました。それに代わって、９月に大麻東小で「走り方教室」モデル授業を実施し、これをＤＶＤにまとめ各小学校に配付することにしました。

６．道研連研究大会上川大会への参加

当研究所は、北海道教育研究所連盟に加盟しています。８月２８日のリモート大会に事務局長が参加しました。

７．所報の発行

本号を含め６回発行し、広報活動に努めました。